

大阪大学経営協議会（平成24年度 第2回）議事要旨

日 時 平成24年9月19日（水）10時00分～12時00分

場 所 大阪大学中之島センター 9階会議室1・2

出席者 平野総長（議長）

大竹、川島、河田、川名、小林、城野、角、手代木、中村、野村、森、恵比須、東島、馬場、相本、阿部、尾山、江口、高橋、木村、岡村、米田、中田、森崎
各委員

欠席者 佐藤、近藤、竹内 各委員

議事に先立ち、会議開催に必要な定足数を満たしている旨の報告があった。
続いて、前回（6月16日開催）の議事要旨については、既に各委員に照会し、内容を確定して本学ホームページに公表済みである旨報告があった。

議 事

【議事】

1 重要財産（土地・建物）の処分について

本学が所有する山の家（白馬村）及び学生宿舍用地（刀根山寮南側）を処分することについて、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、異議なく承認された。

2 中期計画の変更について

議題1において承認された重要財産の処分に伴い、中期計画を変更することについて、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、異議なく承認された。

3 平成25年度概算要求事項について

平成25年度の概算要求の概要及び文部科学省から財務省に提出された本学の概算要求事項について、配付資料に基づき報告があった。

4 平成23事業年度財務諸表について

平成23事業年度財務諸表について、配付資料のとおり、前回の本協議会で承認された内容で文部科学省へ提出したことの報告があった。

5 総長補佐の指名について

平成24年8月25日で任期満了となった総長補佐5名の後任を指名したことについて、

配付資料に基づき報告があった。

【意見交換】

1 産学連携の在り方について

本学の産学連携の現状についての説明があった後、企業との産学連携の在り方や新たな仕組みについて意見交換を行い、学外委員から次のような意見があった。

- ・ 大阪大学と関わりの少ない中小企業にも、誰がどんな研究をしているのか、どこに相談すればよいかをすぐに調べられるような、可視化されたシステムがあるとよいのではないかな。
- ・ 企業は利益が出るかどうか分からないものには支出しにくい。利益が見えない当初の段階から大学が加われば、中小企業も参加しやすく、そういうものの中から発展して軌道に乗るものも出てくるのではないかな。
- ・ 国立大学は基礎研究を大事にするが、企業の業種によっては基礎研究との接点が少ない場合もある。産業を発展させるという視点も入れて取り組んでほしい。企業によって事情が異なるので産学連携の仕組みは多いほうが良い。
- ・ 外部資金の獲得を重視すれば応用研究へ引っ張られる傾向にあり、基礎研究とのバランスを保つことが難しい。産学連携に対する大学としての基本的な考え方を示すことが大事ではないかな。
- ・ ものづくりや先端研究だけでなく、例えば政治の世界のリーダーを育成するような産学連携もあってもよいのではないかな。
- ・ 国立大学のスピードは社会に比べて遅すぎるし、私立大学に比べても遅い。企業との人材交流を通じて、企業のスピードを実感する必要がある。
- ・ アジアから採用した社員は非常に優秀なので、アジアの人材育成を続けてほしい。大学を通して企業からアジアの人材にアプローチできるような窓口になってほしい。
- ・ 企業も非常に状況が厳しい中で、大阪大学と手を組むことのメリットが見えなければ連携は難しい。大阪大学と他大学との違いを明確にし、大阪大学の強みを明らかにすることが重要。
- ・ 企業からの寄附だけでなく、個人からの寄附も増やすためには、例えば寄附者個人の名前を付した基金などがあればいいのではないかな。

【その他】

1 次回経営協議会の開催予定について

平成 24 年度第 3 回の本協議会について、平成 24 年 11 月 29 日に開催する旨の報告があった。

(以上)